

KISA REPORT

Vol. 39

Kagoshima
Information
Service industry
Association

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
〒892-0821
鹿児島市名山町9番15号 マークメイザン402号
TEL.099-219-9088 FAX.099-219-9099

表紙フォトコンテスト
テーマ
鹿児島の食



株式会社イーデザイン 大脇 直 様

『かごしまのダレヤメ好適品』

11月1日は「本格焼酎の日」、11月15日は「さつま揚げの日」です。

どちらもかごしまを代表する逸品で、この二つは「ダレヤメ」での相性バツグンです。



株式会社フォーエバー 廣川 流乙 様

『鹿児島の夏の風物詩といえば!』

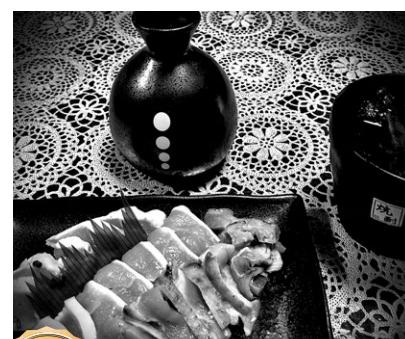
鹿児島の食といえば、そうめん流し。皆で囲んで食べるそうめん流しは、美味しい!たのしく!夏の暑さも忘れさせてくれます。



南国システムサービス株式会社 堂園 一広 様

『鹿児島の食』

夏の鹿児島の食を支えてくれている野菜・果物たちに感謝!「西瓜、にがり、トマト、早生蜜柑、おくら」



アジア印刷株式会社 木佐貫 剛 様

『今宵のだれやめ(焼酎と地鶏刺し)』

初めてモノクロ写真に挑戦してみました。白と黒のコントラストが醸し出す鹿児島の伝統的な食文化です。

Contents

令和4年度定時総会のご報告
新理事就任のご挨拶

②

生産性向上支援訓練の開催
広報研修委員会の紹介

④

教育部会の活動紹介
公共部会の活動紹介

⑥

会員名簿

⑦

サイバーセキュリティセミナーの開催
新入社員研修の開催

③

親睦ゴルフコンペの開催
総務企画委員会の紹介

⑤

新入会員の紹介
表紙フォトコンテスト表彰式
編集後記

⑧

令和4年度 定時総会のご報告

日時:令和4年5月16日(月)16時

令和4年度定時総会が、マリンパレスかごしまで開催されました。

正会員総数62社:出席会社47社(うち委任状提出14社)

【議案審議】

第1号議案:令和3年度事業報告および収支決算の件

事務局、総務企画委員会、広報研修委員会、対外部局(公共部会、教育部会)からそれぞれ令和3年度事業報告および、事務局から令和3年度収支決算の報告が行われ、質疑応答の後、原案どおり承認されました。



第2号議案:令和4年度事業計画および収支予算の件

事務局、総務企画委員会、広報研修委員会、対外部局(公共部会、教育部会)からそれぞれ令和4年度事業計画および、事務局から令和4年度収支予算の説明が行われ、質疑応答の後、原案どおり承認されました。



第3号議案:任期満了に伴う役員選任の件

事務局から定款25条により、理事10名、監事3名が本定時総会で任期満了になる旨の説明が行われました。

については、次期役員を定款22条により本定時総会において選任する必要があり、推薦等をお願いしたところ、特に意見がなく、事務局より次期役員案の提示がされました。

議長が事務局案の賛否を諮ったところ全員異議なく承認され、理事11名(再任9名、新任2名)、監事2名(再任2名)が選出されました。

第3号議案終了後、別室で会長、副会長を選任するための理事会が開催され、会長を久永忠範理事(再任)、副会長を松田浩一理事(再任)、竹内勝幸理事(再任)に決定したことを議場に報告しました。

本年度も昨年度に引き続き、コロナウィルス感染拡大防止のためご来賓の出席をご遠慮いただき、会員には委任状参加を推奨し、講演会、懇親会は省略して開催いたしました。

新理事就任のご挨拶

令和4年5月の定時総会におきまして、本会の理事に選任されました。平成28年より6年間監事の任をいただき、理事会運営に関わらせていただきました。

一昨年当初から流行り始めたコロナ感染症はパンデミックを引き起こし、あらゆる業界や生活そのものに影響をもたらし、その対処として、私たちのライフスタイル、ワークスタイルは、IT技術を駆使しながら大きく様変わりし、そのニーズに応えるために技術革新も想定以上の速さで進んでいます。

そんな中、昨年9月のデジタル庁発足を皮切りに、全国の自治体では、いわゆる「DX推進計画」なるものが掲げられ、今までのアナログな手続きを一新し、殆どの手続きをオンライン化するという施策を打ち出しています。また、地域においては少子高齢化がますます進んでいます。その地域の雇用を守るのは地元中小企業です。今、中小企業においても、厳しい経営環境にありながら生き残りのための新たなDX投資が進められています。これらの状況下、私たちIT業界の単なるチャンスとして捉えるのではなく、KISA会員企業さんと共に、何が地域活性化につながり喜ばれる事業か、1会員、1理事として考え行動していくこうと思います。何卒よろしくお願ひいたします。



トータル・ソフトウェア株
代表取締役会長
今給黎 正己

令和4年5月の定時総会にて、理事に選任頂きました株式会社日本システムデザインの梅北でございます。私たちはSalesforceを基盤としたクラウドコンピューティングビジネスに注力している会社です。

21年前に雇用を創出して地域の活性化に寄与したいという想いで、県からの誘致をうけて鹿児島市と立地協定を結び、2001年に鹿児島事業所をソフトプラザかごしま(現:mark MEIZAN)に開設させて頂きました。

社会全体の環境や状況が大きく変わってゆく中、新たな事業をもたらす契機と捉えて、東京で培った技術やノウハウ及び情報を展開することによって鹿児島の発展に貢献したいと考えております。

KISAの活動を通じて、多くの企業と情報サービス産業との共創関係を構築し、微力ながら尽力する所存ですので、皆さまどうぞ宜しくお願い致します。



日本システムデザイン
代表取締役
梅北 千広

KISA会員向け サイバーセキュリティセミナー開催報告

昨今増加しつつあるサイバー犯罪に対する企業の対応として、サイバーセキュリティセミナーを開催致しました。

現実社会において、暴力行為や窃盗といった多様な犯罪があるのと同じように、情報通信技術が発達した社会にも、情報の盗難やコンピュータシステムの破壊といった犯罪があります。また、火事や地震、雷といった災害から機器や情報を守ることも、大切なサイバーセキュリティ対策です。

これらのサイバーセキュリティ対策は、インターネットなど情報通信技術への社会の依存度が高まるにしたがって、ますます重要になってきています。

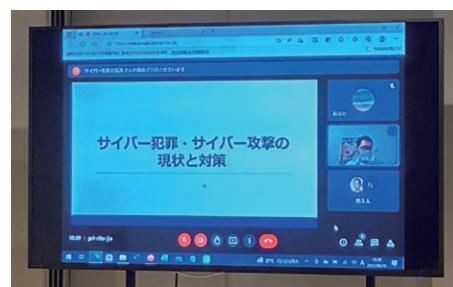
今回、知らない間に加害者になってしまうケースの急増に伴い他企業にご迷惑をおかけしないための対策と、鹿児島県の現状を分かりやすく解説させて頂く内容で進めさせて頂きました。

鹿児島県警察様と弁護士様の観点から今後のビジネスやリスク対策に更に役立てる良い機会になった事と思います。

<概要>

- 1、サイバー犯罪・サイバー攻撃の現状
 - ・サイバーセキュリティ対策がなぜ必要か
 - ・サイバー攻撃の手口
 - ・鹿児島県の情勢
- 2、システム会社における法律上のサイバーリスク
 - ・個人情報保護法の改正等、サイバーリスクに関する法律のトレンド
 - ・事例、判例から見えてくる必要な備え

日 時：令和4年8月25日(木)
場 所：markMEIZAN(鹿児島県名山町9-15)
講 師：鹿児島県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課 松島 章浩 様
弁護士法人グレイス
所属弁護士 大武 英司 様
協 力：保険クラスター(株)鹿児島店
店長 益満 美登 様
参 加 者：11社12名



「令和4年度KISA会員向け 新入社員研修」の開催

令和4年度に入社されました新入社員の皆様を対象に、総勢9社34名での新入社員研修を行いました。前年度に引き続き、今回も集合型の研修とオンラインによるリモート研修を併用したハイブリッドで執り行い、例年以上の企業様にご参加頂きました。

ビジネスマナーや接遇能力などにおいては、座学で知識を高めるだけでなく、より多くのグループワークやロールプレイを織り交ぜることで、その場に積極的に参加する雰囲気が醸成されて、受講された新入社員の皆様もいきいきと取り組まれていました。そういうった様子からも、社会人をスタートさせた今の段階に身に付けるべきスキルは十分に得られたのではないかと思います。

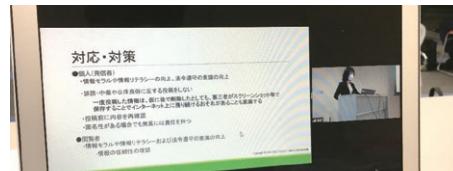
参加された新入社員の皆様からも、「新入社員として最も大切なビジネスマナーや報連相を学ぶことができて、非常に良い経験だった」「名刺交換と電話対応は知らないことが多く、大変勉強になった」「ロールプレイングを多く取り入れて頂き、より身に付けよう意識することが出来た」といった感想も頂くことが出来ました。

また今年度も、入社半年後のフォローアップということで研修をお予定しております。ここで学んだことを基本としてさらに価値を積んで頂けるよう、引き続き取り組んでまいります。

参加者の声

- ・新入社員として最も大切なビジネスマナーや報連相を丁寧に学ぶことができたので、非常に良い経験をさせて頂くことができました。
- ・分かりやすい講義でビジネスマナーについてしっかりと学ぶことができました。
- ・とてもためになるセミナーでした。ありがとうございました。
- ・社会人として身に付けなければならないマナーなどを深く知ることができたのでよかったです。
- ・実践できたのがとても大きかったです。
- ・名刺交換と電話対応は知らない事が多かったので、大変勉強になりました。

日 時：令和4年4月6日(水)
10:00～17:00
場 所：ソーホーかしま会議室A(一部オンライン参加)
講 師：株式会社フォーエバー
参加者：9社34名



令和4年度 生産性向上支援訓練の開催

生産性向上支援訓練 「データサイエンス入門」のご案内

日 時：令和4年12月を予定
場 所：オンライン実施
講 師：宮崎県ソフトウェアセンター様
募集人員：16名程度を予定

令和4年度生産性向上支援訓練は、「データサイエンス入門」セミナーを開催します。データサイエンスとは、数学や統計学、機械学習、プログラミングなどの理論を活用して、莫大なデータの分析や解析を行い、有益な洞察を導き出す学問のことを言います。いま世界では「ビッグデータ」が注目されています。様々な企業でマーケティングに活用されるなど注目度が高まっている分野です。多くの企業や団体、組織などにおいては、日常的な活動のなかで多くのデータを蓄積していますが、それらのビッグデータはそのまま活用することはできません。そのため、ビッグデータのなかから有益な情報を集め、分析や解析を行い、そこから結論を導き出すことが求められています。

本講座では、入門講座として素早くデータ分析を行うことができるようデータサイエンス基礎を学び、行動に活用できるようにするために優先的にアプローチするデータを捉えて各種ツールを駆使し、データの見える化を実現できることを目的としております。

12月に開催する方向で、日程・講師・セミナー内容などを調整しています。今年はコロナの影響もあり、オンライン開催で準備を進めています。

ぜひ楽しみにお待ちください。多くの会員企業の皆様の参加をお待ちしております。

生産性向上支援訓練 「問題解決力向上研修」のご案内

日 時：令和4年12月を予定
場 所：オンライン実施
講 師：宮崎県ソフトウェアセンター様
募集人員：16名程度を予定

令和4年度生産性向上支援訓練は、「問題解決力向上研修」セミナーを開催します。本講座では、必要となる問題発見、解決に向けての力を向上させるためのクリティカルシンキングについて学び、それとともにチームの意見をいかにして束ねていくのかというファシリテーション力の向上を目的としております。

仕事で直面する問題はたくさんのがらみあって起こっています。

本講座では、職場で発生する様々な事象に対し、どのように「問題」を見出し、真因を探り、その解決策の立案ができるように学んでいただきます。

12月に開催する方向で、日程・講師・セミナー内容などを調整しています。今年はコロナの影響もあり、オンライン開催で準備を進めています。

ぜひ楽しみにお待ちください。多くの会員企業の皆様の参加をお待ちしております。

令和4年度 広報研修委員会の紹介

委員長
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株会社 内村 剛
副委員長
株式会社シナプラス 今門 克行
株式会社フォーエバー 東 慎一
株式会社富士通鹿児島インフォネット 板山 守明

令和2年度より広報研修委員会の委員長を務めさせていただいております富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社鹿児島支社の内村 剛です。

KISAにおける広報研修委員会の役割は、KISAの会員企業の活動や実績を県内外に広くお知らせし、会員企業のさらなる活動の場を広げること、さらには会員企業のために、先進技術や人材育成のためのセミナーを実施することで会員企業様の能力をさらに高めて、地域社会の貢献につなげることであると認識しております。

今年度は、無償セミナー2回と生産性向上支援訓練のスキームを利用した研修を2回、合わせて4回のセミナー・研修を計画・準備しております。会員企業の皆さんはぜひご参加ください。

広報部門では、昨年度からKISAホームページの会員企業紹介ページの充実を図り会員企業の資格者や得意分野・業種を検索できるようにいたしました。

まだ登録ができていない会員企業の皆様のご協力お願いいたします。

広報研修委員会の活動が、会員企業様皆さまの発展にお役に立つよう取り組んで参りますので、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



内村 剛

令和4年度 KISA親睦ゴルフコンペ夏の陣



日 時：令和4年8月27日(土)
場 所：南国カントリークラブ
参加者：26団体51名(25チーム)

総務企画委員会では毎年恒例の会員相互の親睦を目的としたゴルフコンペを南国カントリークラブで開催しました。当初の計画では春に開催予定でしたが天候不良のため、今回に延期となり夏の陣として開催となりました。例年通りチーム戦形式を取り、26団体51名(25チーム)に参加して頂き、OUT／INの7組／6組に別れてスタートする形式で実施いたしました。

今回は晴天となり残暑の中で熱中症が少し気になる中、参加者も水分を補給しながら親睦を深め楽しむことができ大変記憶に残るコンペとなりました。

今回もコロナ感染症対策として表彰式は後日成績発表をWEB配信と致しました。次回からはコロナ前のように表彰式も実施できれば、と感じながらお帰りの参加者を見送りました。

次回(今年度2回目)も計画しておりますので、今後とも会員皆様のご協力とご参加をお待ちしております。

また、総務企画委員会では様々なイベントも計画しておりますので、併せてご参加の程よろしくお願いします。

結果は以下のとおりです。

【結果(敬称略)】

■個人戦順位 優勝 前田 良邦(NET: 71.2) NPO鹿児島インファーメーション
準優勝 渕田 孝康(NET: 72.0) NPO鹿児島インファーメーション
第3位 今村 裕一(NET: 72.2) (株)QTnet

■チーム戦順位(氏名は50音順)

優勝 シャンクス 今村 裕一/榎田 洋一(NET: 145.4) (株)QTnet/(株)コンサル41
準優勝 どろ舟 斎藤 克司/吉永 聰(NET: 146.4) (株)ソフトマックス/鹿児島銀行
第3位 NSS-A 木迫 寛/郷原 知展(NET: 146.8) 南国システムサービス(株)

■ベスグロ賞 今村 裕一(GROSS: 77) (株)QTnet



協賛企業一覧(南国カントリークラブ以外は50音順)

株式会社ARS	SCSKニアショアシステムズ株式会社	株式会社エス・ティー・ラボ	株式会社九州日立システムズ
株式会社QTnet	株式会社クローバーシステム	株式会社コンサル41	株式会社スマートエンジニアリング
ソフトマックス株式会社	株式会社ソフト流通センター	ダイワボウ情報システム株式会社	株式会社トウコングループ
トータル・ソフトウェア株式会社	南国システムサービス株式会社	株式会社日本システムデザイン	株式会社日立製作所
株式会社フィットコンサル	株式会社フォーエバー	富士フィルムビジネスソリューションジャパン株式会社	株式会社富士通鹿児島インフォネット
富士通Japan株式会社	株式会社南日本情報処理センター	リコージャパン株式会社	原口酒造
KISA総務企画委員会			

今回も多くの協賛をいただきました。誠にありがとうございました。

令和4年度 KISA総務企画委員会紹介

委員長

株式会社日本システムデザイン 田中 健太

副委員長

ユニバーサルソフト株式会社 塩屋恵太朗

リコージャパン株式会社 岩城 輝志

昨年度に引き続き総務企画委員長を務めさせていただいております(株)日本システムデザインの田中です。引き続きコロナウィルスの影響で生活・働き方までも変化を求める中、日ごろ総務企画委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。このような状況ではありますが徐々にコロナとの共存の方向に向かっていると認識しています。各イベントにつきましても例年通りの開催に戻しつつもネットでのリモート開催など様々な形で会員企業様に貢献できるよう委員会の中でイベントなど慎重に協議を進めさせていただいております。

今年度につきましてはこれまで自粛していた「おはら祭りへの参加」や「ボウリング大会」も開催の方向で検討していますので奮ってご参加いただければと思います。

また自社の任務を遂行しつつ時間と労力を費やし委員会活動にご協力いただいている総務企画委員会の方々にこの場をかりて感謝申し上げます。

今後も本県の情報サービス産業、並びに会員企業の皆様の発展に少しでもお役に立てますよう取り組む所存ですので皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



田中 健太

教育部会の活動紹介

教育部会はKISA理事6名で運営され、2つの目的、
①産学連携による、会員企業の技術力向上と事業化シーズ発掘
②産学連携による、鹿児島のIT活用を促進する人材の育成と確保をもって、活動しています。

前年度は新型コロナの影響下ではありましたが、鹿児島大学産学・地域共創センター様のコーディネートのもと開催した「鹿児島大学研究シーズセミナー」、鹿児島大学工学部情報工学科渕田教授からお声掛けをいただき実現した「オンデマンド授業への講師派遣」の取り組みを行いました。今年度はその実績をもとにして、引き続き鹿児島大学との連携を深めつつ、県内専門学校などとの交流・情報交換も模索し、関係の拡大と構築に努めてまいります。KISA会員の皆さまの事業発展のお役に立てるように尽力してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

■2022年度の主な取り組み予定

①鹿児島大学研究シーズセミナー

前年度ご好評をいただいた研究シーズセミナーを今年度も計画します。非IT分野のツアー開催を通じて、KISA会員の皆さまの得意とするITの活用領域を拡げることを目指します。

②鹿児島大学オンデマンド授業への講師派遣

鹿児島大学工学部情報工学科渕田教授との連携により実施するもので、工学部先進工学科情報・生体工学プログラム2年生約80名を対象にした必修科目授業に、KISA会員企業の現役エンジニアから講師を派遣するものです。実際に社会で活躍するエンジニアの実務と生の声を学生に伝えることで、エンジニアの仕事の理解と就業の心構え醸成を行います。

授業は対面ではなく、事前に収録した講義ビデオを後日、学生各々が視聴するオンデマンド形式です。今回は授業冒頭での企業紹介も可としていただいており、会員各社への学生の関心づくりの機会としても有効と考えています。

③県内専門学校など教育機関との関係拡大

前年度の鹿大との取り組みをモデルとして、先生方との交流や、学生向け授業などでのご協力などをもって、関係の拡大を模索します。

公共部会の活動紹介

公共部会はKISA理事5名で運営され、以下の3つの方針に基づき活動しています。

- ①ICTによる鹿児島県の発展に寄与
- ②会員企業のビジネス創出
- ③KISAのプレゼンス（知名度）向上

これまでに鹿児島県及び主要自治体（鹿児島市、霧島市、鹿屋市）の訪問を通じて理解しましたKISAへの要望や期待を部会の課題として、具体的に進めできました1年でした。

試験的に鹿児島県からのICTに関するご相談（サーバー入替に伴うリスクや費用見積、セキュリティにおける最新技術動向など）を公共部会でヒアリングし、会員企業が問題解決のための支援や解決を図るまでの流れを検証しました。そこで得た知見をもとに「鹿児島県内自治体からの各種依頼に関する対応ガイドライン」を制定いたしました。各自治体からのICTに関する相談対応が標準化され、今後はより効果的な成果が発揮できるものと期待しております。

今年度は、継続的に実施している県内自治体の訪問活動などを通じて、KISAとしてICTに関するご相談が随時受けられるようになったことを広く紹介・アピールしていくと考えています。

また、自治体だけに限らず屋久島環境文化財団など自治体に準ずる団体などからも打診があることから、これら団体のご相談にもお応えできるよう対象を拡大できたらと思います。

公共部会の活動が鹿児島県の発展に貢献し、更には会員の皆さまの事業発展のお役に立てるよう尽力してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

理事

(株)フォーエバー

代表取締役 久永 忠範

南国システムサービス(株)

代表取締役社長 郷原 知展

(株)ARS

代表取締役 五反 一夫

(有)Frida

代表取締役 松元 まや

トータル・ソフトウェア(株)

代表取締役会長 今給黎正己

(株)シナプス

代表取締役社長 竹内 勝幸



部会長 竹内 勝幸

理事

(株)富士通鹿児島インフォネット

代表取締役社長 松田 浩一

(株)コレクトプラン

代表取締役 神薗 俊一

(株)南日本情報処理センター

代表取締役社長 中村 洋

パステムソリューションズ(株)

代表取締役社長 吉留 久隆

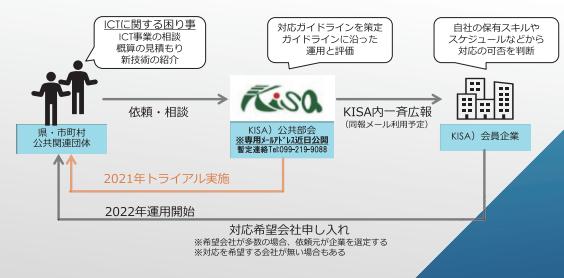
(株)日本システムデザイン

代表取締役社長 梅北 千広



部会長 松田 浩一

自治体等からの相談対応スキーム



新入会員の紹介

株式会社鹿児島データ・アプリケーション(KaDA)は、親会社である株式会社データ・アプリケーション(DAL)の開発拠点として2008年に設立された会社となります。

DALは国内EDI市場導入シェアNo.1のACMSシリーズ、データ ハンドリング プラットフォーム RACCOONを提供するソリューションカンパニーです。企業間電子取引から社内システム連携までデータのシームレス連携でスピード経営を支え、2,600社以上の導入企業と13,500を超えるサイトを支えています。

KaDAでは、これらのEDI関連製品の開発・保守を主な業務としており、「鹿児島から驚き!」を」をビジョンとして掲げ、鹿児島の技術力で高品質なソフトウェアとサービスを提供し、情報社会を支えます。

業務の性格上、会員の皆様との接点は少ないのですが、皆様とともに鹿児島の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



表紙フォトコンテスト入賞者 表彰

KISA REPORT Vol.39表紙フォトコンテストにKISA会員企業の皆様から多数ご応募いただき、ありがとうございました。

今回は、2022年10月に全国和牛能力共進会（通称：和牛オリンピック）が鹿児島で行われることもあり、改めて私たちの故郷であり、事業活動の大切な地域社会である鹿児島の食を皆様にお知らせしたいという思いから「鹿児島の食」というテーマで、KISA会員企業の社員の皆様へKISAレポートの表紙フォトコンテストのご案内をし、多数の作品応募をいただきました。（13社16点）

9月1日にオンラインで開催されたKISA広報研修委員会にて構図やテーマとの整合性を評価基準として審査会を実施して、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選2点の4作品を選定させていただきました。

9月20日に開催されたKISA理事会後に入賞者4名にお越しいただき、マークメイザンにて表彰式を行いました。

表彰式では、久永会長より賞状ならびに副賞が受賞者の皆さんに手渡されました。最後は、KISA理事のメンバーと受賞者が【食】ポーズで記念撮影いたしました。



写真前列左より

[入選] 木佐貫 剛さん（アジア印刷株式会社）
[最優秀賞] 大脇 直さん（株式会社イーデザイン）

久永会長

[優秀賞] 廣川 流乙さん（株式会社フォーエバー）
[入選] 堂園 一広さん（南国システムサービス株式会社）

写真後列左より

竹下事務局長、郷原理事、五反理事、竹内副会長、梅北理事
松元理事、中村理事、森監事



かごしまは食の宝庫です。その中から、焼酎とさつま揚げを代表としてセレクトしました。
特に焼酎は県内に120の蔵元があり銘柄も豊富です。鹿児島の地元の焼酎を応援するぞ!!との思いを込めました。

最優秀賞

株式会社イーデザイン
大脇 直様



優秀賞

株式会社フォーエバー
廣川 流乙様



入選

南国システムサービス株式会社
堂園 一広様



入選

アジア印刷株式会社
木佐貫 剛様

編 集 後 記

今回のKISAレポートの表紙フォトコンテストは「鹿児島の食」というテーマで公募いたしました。テーマが難しいとの声もたくさんいただきましたが、たくさんの方の思いのつまつた写真をたくさん応募いただきました。

今回応募いただきました作品の中には鹿児島を代表する食べ物と風景を重ねた素晴らしい写真がたくさんありました。コロナというはやり病の影響によって私たちの生活様式は変化し、消費行動や食生活も変化しているように思います。鹿児島らしい食材や料理を文化とともに継続して伝えていくこと・応援することが大事なんだと改めて感じました。

鹿児島という地域社会を事業基盤としている我々KISA会員企業も今後はさらに地域社会の発展に貢献できる活動が必要だと思います。我々KISAの会員企業が地域社会でのプレゼンスを高め各々が持つICTや技術の力でますます地域社会を元気づけていくように力を合わせて取り組んでいくことが必要だと思います。

今回の発刊に関して、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

また次回もKISAレポートの発刊ならびにフォトコンテストへのご協力・ご応募のほどよろしくお願いいたします。

令和4年10月 広報研修委員長 内村 剛

